

第6学年3組 音楽科学習指導案

日 時：平成28年9月15日（木）第3校時
指導者：教諭 越 吏 泳 子
場 所：音楽室・準備室・Eルーム

1 題材名 いろいろな音のひびきを味わおう

2 題材について

本題材は、学習指導要領A表現（2）エ、（3）イ、B鑑賞イに関連し、器楽、音楽づくり、鑑賞の各活動を通して、パートの役割や楽器の特徴を生かした響きやその重なり的美しさを味わうことをねらいとしている。

本学級は、音楽活動に意欲的に取り組んでいる児童が多い。先に取り組んだ「ラバーズコンチェルト」のグループ合奏では、進んで話し合い活動を行い、グループごとに作りたい音楽のイメージを明確にもちつつ、声部の役割に合った音色の重なり方を工夫して合奏することができていた。音の重なりについては、3年生と4年生で、声と声、声とリコーダーを重ねて歌う活動、5年生で歌唱や器楽合奏を通して多様な重ね方を感じ取ったり工夫したりする学習をしている。

本題材では、協調学習の手法を用いて音楽の特徴や感じ取ったことを伝え合い、楽曲への理解を深めていく。〔共通事項〕を手掛かりとした言語活動や音楽の表現活動を児童主体に行うようにすることで、児童が主体的に音楽に関わり音楽にさらに興味・関心を持てるように進めていきたい。また、自分の考えを伝えお互いに認め合うことで自己有用感を高められるようにする。学習を進めていく上では大型テレビを活用し、音楽を可視化することで、より理解しやすく、考えをまとめやすくし、自分の考えを根拠をもって表現できるようにしていきたい。

3 題材の目標

- パートの役割や楽器の特徴を生かして全体の響きを味わって演奏したり、楽器の組み合わせから生まれる響きの美しさを味わって聴いたりする。
- 楽器の音色やリズム、音楽の仕組みを生かして、音楽をつくったり演奏したりする。

4 教材

- （1）「ラバーズコンチェルト」デニー・ランデル・サンデー リンザー 作曲／石桁冬樹 編曲
- （2）「管弦楽組曲『惑星』から 木星」ホルスト 作曲
- （3）「リズムをつくってアンサンブル」

5 本題材で取り扱う〔共通事項〕と学習活動の関わり

〔共通事項〕 ア	音色、リズム、旋律、強弱、音の重なり、拍の流れ、フレーズ、反復、変化、問いと答え、音楽の縦と横の関係
主な学習活動	・パートの役割に合った楽器の音色やその組み合わせによる響きを生かしながら、合奏をしたり、反復や変化、音楽の縦と横の関係を生かしながらまとまりのあるリズムをつくったりする。 ・楽曲全体の曲想、旋律の反復や変化、音色などから楽曲の構造への理解を深める。

6 題材の評価規準 ★本時

ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能	エ 鑑賞の能力
① 楽器の重なった響きに興味・関心を持ち、合奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 ② オーケストラの響きに興味・関心を持ち、楽曲の響きや楽曲全体にわたる曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴く学習に主体	① 楽器の音色や旋律の特徴を聴き取り、その重なり合いによって生まれる響きのよさを感じ取りながら、パートの役割を生かした表現を工夫し、どのように演奏するかについて自分の思いや意図をもっている。	① 楽器の音色に気を付け、それらが重なり合う響きを聴き合いながら、パートの役割や楽器の特徴を生かして合奏している。 ② 楽器の特徴を生	① 楽器の音色、旋律の反復や変化、拍子の違いを聴き取り、それらの働きから生まれるよさや面白さを感じ取り、楽曲の構造を理解したり楽曲全体にわたる曲想を味わったりして聴いている。 ② ★曲想とその変化の特

的・協働的に取り組もうとしている。 ③ 楽器の音色やリズムの特徴に興味・関心をもち、反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係を生かしてリズムアンサンブルをつくる学習に主体的に取り組もうとしている。	② 楽器の音色やリズムを聴き取り、その組み合わせによる響きのよさや面白さを感じ取りながら、反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係から楽器の特徴を生かした音楽をつくりどのような音楽にするかについて見通しをもっている。	かして、反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係を生かして、リズムアンサンブルをつくっている。	徴、楽器の音色と旋律の反復や変化、拍子の違いなどのかかわり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴やオーケストラの響きのよさを理解して聴いている。
---	--	---	---

7 指導と評価の計画

時	・主な学習活動	☆評価規準【評価方法】	〔共通事項〕
第1次 パートの役割や楽器の特徴を生かして合奏する。			
1 2 3 4	- 模範演奏を聴いて、「ラバーズコンチエルト」の特徴をつかむ。 - 各パートにふさわしい楽器を選び、音色や響きを生かして演奏する。 - 各パートの役割について考え、全体のバランスを工夫して演奏する。 - リズム伴奏を加え、グループごとに発表し、響きの違いを楽しんで聴き合う。	☆楽器の重なった響きに興味・関心をもち、合奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 【ア 発言内容、行動観察】 ☆楽器の音色や旋律の特徴を聴き取り、その重なり合いによって生まれる響きのよさを感じ取りながら、パートの役割を生かした表現を工夫し、どのように演奏するかについて自分の思いや意図をもっている。【イ ワークシート、演奏聴取】 ☆楽器の音色に気を付け、それらが重なり合う響きを聴き合いながら、パートの役割や楽器の特徴を生かして合奏している。【ウ 演奏聴取】	音色 リズム 旋律 強弱 音の重なり 拍の流れ フレーズ 反復 変化
第2次 オーケストラのひびきを味わいながら聴く。			
5 6	- オーケストラの楽器の音色や響き、曲想を味わって「木星」を聴く。 「木星」を聴き、楽曲全体の構成に気付き、楽曲を構成する各旋律の特徴を感じ取る。	☆オーケストラの響きに興味・関心をもち、楽曲の響きや楽曲全体にわたる曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴く学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。【ア 発言内容、行動観察】 ☆曲想とその変化の特徴、楽器の音色と旋律の反復や変化、拍子の違いなどのかかわり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴やオーケストラの響きのよさを理解して聴いている。【エ 発言内容、ワークシート】	音色 速度 旋律 強弱 音の重なり 拍の流れ 反復 変化
第3次 打楽器の音色や音楽のしくみを生かして、リズムアンサンブルをつくる。			
7 8	3人グループで、楽器の音色やその組み合わせを工夫しながら、反復や変化を使ってまとまりのあるリズムをつくり、アンサンブルを演奏する。 - つくったリズムアンサンブルを組み合わせ、発表会をする。	☆楽器の音色やリズムの特徴に興味・関心をもち、反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係を生かしてリズムアンサンブルをつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 【ア 行動観察、ワークシート】 ☆楽器の音色やリズムを聴き取り、その組み合わせによる響きのよさや面白さを感じ取りながら、反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係から楽器の特徴を生かした音楽をつくりどのような音楽にするかについて見通しをもっている。 【イ 発言内容、ワークシート】 ☆楽器の特徴を生かして、反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係を生かして、リズムアンサンブルをつくっている。【ウ 演奏聴取、ワークシート】	音色 リズム 速度 強弱 音の重なり 拍の流れ フレーズ 反復 問いと答え 変化 音楽の縦と横の関係

8 本時の学習指導（6／8）

（1）目標

楽曲全体の構成に気付き、楽曲を構成する各旋律の特徴を感じ取る。

（2）主に扱う〔共通事項〕

音色、旋律、音の重なり、拍の流れ、反復、変化

（3）展開

学習内容・学習活動		・指導上の留意点◇評価規準【評価方法】☆A L	時間
1	今月の歌「エール」を歌う。	・口形と呼吸の仕方に気をつけ、発声も兼ねて美しい響きで歌うように声かけをする。	5
2	本時のめあてを知る。 管弦楽組曲『惑星』から木星	・ICT機器から伴奏の音を出し、教師は児童の様子を見取れるようにする。	2
オーケストラの響きをきいて、旋律の特徴を感じ取ろう			
3	楽曲全体を聴き、個人のワークシートに気が付いたことを書く。	☆曲想や拍の流れの変化に気付くことができるようにする。	7
4	曲想の変化したところについて話し合う。	・Aの部分に①②③の異なる旋律があることを確認する。	5
5	①②③のグループに分かれ、各旋律の特徴について話し合う。	☆大型テレビに拡大楽譜を映して可視化し、話し合っていることが理解しやすいようにする。 ☆各旋律について少人数で話し合えるようにする。 ☆CDを各自操作し、繰り返し聴き、確認しながら話し合うようにする。	12
準備室 ③の旋律 11人 (A3・B4・C4) の3グループ Eルーム ①の旋律 11人 (A3・B4・C4)の3グループ 音楽室 ②の旋律 10人 (A4・B3・C3)の3グループ		☆音楽の素を使って話し合いができるようにする。 ・話し合いが滞っているグループには、楽曲をよく聴き、音楽の素がどのようなになっているかを考えさせる。 ・旋律の特徴の違いとそれぞれのよさに気付くことができるようにする。	10
6	A・B・Cのグループに分かれ、①②③の旋律について分かったことを伝え合う。	◇エ②曲想とその変化の特徴、楽器の音色と旋律の反復や変化、拍子の違いなどのかかわり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴やオーケストラの響きのよさを理解して聴いている。 【行動観察・発言内容】 ・「十分満足できる」状況と判断する状況 音の重なり、反復、変化などの旋律の特徴を感じ取り、楽曲の構造や音楽の縦と横の関係に気付いて聴いている。 ・「おおむね満足できる」状況と判断する状況 音の重なり、反復、変化などの旋律の特徴を感じ取って聴いている。	
7	本時のまとめをする。 ・始めに書いた曲の感想を見直し、旋律の特徴に対する理解の深まりを確認する。	・本時を振り返り、話し合いが深まったことや、旋律の特徴を感じ取ることができたことを賞賛する。 ・①②③の旋律の特徴と、始めにメモしたことよりも楽曲に対する理解が深まっていることを確認する。 ・次時では、各グループで話し合ったことをお互いに伝え合うことを伝える。	4

9 板書計画

「エール」歌詞	オーケストラの響きをきいて旋律の特徴を感じ取ろう。	(大型テレビ) ①の旋律の楽譜 ②の旋律の楽譜 ③の旋律の楽譜
	グループの分かれ方 音楽の素	